



2007年11月25日発行（季刊）

特定非営利活動法人 市民シンクタンクひと・まち社  
〒160-0021 新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル6階  
TEL&FAX 03-3204-4342 E-mail : npo@hitomachi.org  
URL : http://www.hitomachi.org

## 共生の住まいづくり

生活クラブ生協（東京）常務理事・事業部長 赤坂 禎博

10月に西東京市にパスレル保谷がオープンしました。このプロジェクトは、都の計画道路の関係で移転を余儀なくされた生活クラブの保谷センターの跡地利用に端を発し組合員、ワーカーズなど様々な人の関わりの中から構想が生まれてきました。4階建ての建物には、10戸の分譲住宅、子育て支援のための保育事業、NPOたすけあいワーカーズ・ハミングは介護保険訪問介護サービス、障がい者自立支援サービスに加えてデイサービスを運営、供託支援事業を行なうプラス・ド西東京、NPOひらけごまは移送サービスを運営します。この他に市民事業支援のためのシェアオフィス、地域のイベントの活用できるイベントスペース、生活クラブのお店デポーなど様々な機能が盛り込まれた空間が出来ました。パスレル保谷が目指したものは「大人も子ども若者も、障がいがある人もない人もカップルでもシングルでも、日本人でも他国の人も、生産者も消費者も事業者も、多様な人びとが認め合って共に生きるインクルーシブ（多様な人が共に）で、ユニバーサル（誰もが使いやすく）なまちづくり」です。人と暮らしと地域をつなぐ架け橋（パスレル）としての空間作りです。

まちづくりは、地域でどんな住まい方をしていくのかという問題でもあると思います。衣食住といわれるように「住まい方」の問題は、生活をしていくうえでの基本的な問題です。生活クラブでは、10年以上にわたって住宅事業に取り組んでいますが、生活クラブの住宅事業は、安全・安心の家作りにとどまることなく「住まい方」「まちづくり」の提案です。私たちの提案する住まい方は、パスレルに表現されているように大

人も子ども障がいがある人もない人も、様々な人が共に生きる共生、地域多種多様に存在しているコミュニティとの共生、持続可能な生活を作るための環境との共生など共に生きる地域社会を作ることです。

共生の住まいづくりは、生活クラブだけでの取り組みでは限界があり、現在ACT（NPO・アビリティクラブたすけあい）と社会福祉法人悠遊と「住まい方研究会」を行なって相互のネットワークや資源を活用していかにか共生の住まいづくりを広げ実現していくかその可能性について検討しています。生活クラブ運動グループのネットワークを活用することでその可能性がさらに広がっていきます。また、提携している建築士は、単に安全・安心に家づくりにとどまることなく、環境共生を目指し雨水を利用した家づくりやまちづくりに取り組んでいる人、地域共生の家作りに取り組んでいる人、グループホームや小規模多機能など地域福祉の取り組んでいる人、木造密集住宅の住み替えの活動に取り組んでいる人、太陽光発電に取り組んでいる人など様々なまちづくりや住まい方の提案と実践に取り組んでいる専門家集団です。

共生の住まい作りは、これら様々なネットワークや専門家との連携なくしては実現できません。運動グループや専門家との連携をさらに広げ生活クラブが目指す「住まい方」の提案と実践をこれからも積極的に行なっていきたいと考えています。

「ひと・まち社」で皆さんと一緒に活動させて頂いているのも何かの縁です。皆さんからの提案もお待ちしております。ぜひ一緒に「住まい方」の問題にも取り組んでいければと思います。